

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
(1) 原始 ・ 古 代 の 日 本 と 東 ア ジ ア	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色を主に東アジア情勢と関連付けて理解させる。</p> <p>ア 歴史と資料 ・岩宿遺跡・大森貝塚・三内丸山遺跡などを紹介し、その時代や文化の特色を理解させるとともに、文化財の重要性や親近感に気付かせ、歴史に対する関心を高める。 ・日本の様子について記述された中国の歴史書を読み、当時の社会や文化の特色を理解させる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 ・飛鳥の朝廷から改新政府、近江朝廷、天武・持統朝までの流れが律令体制の形成過程であること、ヤマト政権との相違を理解させる。 ・律令国家の体制について、主に民衆の視点から、班田収授法や農民の負担を理解させる。 ・平城京の時代について、都の造営や仏教政策について理解させる。 ・平安時代の初期については、律令体制の変容について理解させる。 ・飛鳥、白鳳、天平、弘仁・貞観文化について、背景である政治情勢と関連づけて、理解させる。また、その時代を代表する特徴的な寺院や仏像を視覚に訴えながら紹介し、日本文化の特色を理解させる。</p>

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
(2) 中世の日本と東アジア	<p>ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほしうが}について考察させる。</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>ウ 古代国家の推移と社会の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂関政治が成立した背景や国風文化について、理解させる。 ・荘園の発生や武士の台頭など古代国家の変容について理解させる。 <p>中世社会と社会の仕組み、文化の特色について、国際環境と関連づけて理解させる。</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「紀伊国阿氏河荘民の訴状」や一揆の史料、柳生の徳政碑文などを扱い、当時の人々の生活像を認識させる。 <p>イ 中世国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立過程を学ぶことで、貴族社会と武家社会の相違を認識させる。 ・承久の乱と執権政治の確立について理解させる。 ・蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退を理解させる。 ・庶民層に普及した鎌倉仏教について理解させる。

学習指導要領	都立広尾高校 学カスタンダード
<p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成</p> <p>ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>(3) 近 世 の 日</p>	<p>ウ 中世社会の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の滅亡、建武の新政、南北朝の動乱、室町幕府の成立などの大きな流れを理解させる。 ・庶民が台頭して惣村が成立し、さまざまな一揆がおこったことを理解させる。 ・主に日明貿易について、東アジア世界と関連づけて理解させる。 ・武家文化と貴族文化、大陸文化と伝統文化の融合である北山文化と東山文化について理解させる。 <p>近世国家の社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて理解させる。</p> <p>ア 歴史の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの歴史的事象をとりあげて、複数の歴史的解釈を紹介し、その根拠や論理を考察させる。 <p>イ 近世国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲やキリスト教の伝来といったヨーロッパ世界との接触について理解させる。 ・戦国大名のさまざまな富国強兵政策について理解させる。 ・織田信長や豊臣秀吉の統一事業について理解させる。 ・江戸幕府の成立過程や、大名や民衆の統制政策に

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
本 と 世 界	<p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p> <p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p>	<p>ついて理解させる。 ・鎖国体制下ではありながらも、四つの窓を通じて交流があったことを認識させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 ・近世の経済と産業の発展について理解させる。 ・近世の学問と文化について、浮世絵の発達や寺子屋の普及など文化の大衆化という視点から理解させる。 ・享保の改革・田沼の政治・寛政の改革内容について、理解させる。 ・内憂外患や雄藩の誕生などの情勢について理解させる。</p> <p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて理解させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立 ・開国と開港が日本に与えた影響について理解させる。 ・幕府の滅亡過程について、攘夷から倒幕へ、大政奉還と戊辰戦争などの流れを中心に理解させる。</p>

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代日本の形成と世界</p>	<p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央集権国家を成立させるためのさまざまな改革を理解させる。 ・自由民権運動の始まりと広がりについて理解させる。 ・立憲政治の開始の過程や、大日本帝国憲法の内容、初期議会の様子について理解させる。 <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不平等条約の改正について、その過程を国際情勢と関連づけて理解させる。 ・日清戦争が勃発した原因とその後の国際情勢について理解させる。 ・日露戦争の背景とその後の国際情勢について理解させる。 <p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙思想を中心に学問の発達や教育制度の整備に

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
(5) 両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界	<p>や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>ついて理解させる。</p>
	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <p>政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて理解させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正デモクラシーを軸に、大戦景気や中国政策、原内閣の政策について理解させる。
	<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p> <p>国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p>	<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦への日本の参戦、ヴェルサイユ条約とアジアの民族運動について理解させる。 ・ワシントン体制と協調外交について理解させる。 ・山東出兵や張作霖爆殺事件などの強硬外交について理解させる。 ・経済の動揺（恐慌）について理解させる。
<p>ウ 第二次世界大戦と日本</p> <p>国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>ウ 第二次世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満州事変から日中戦争にいたる対中政策を理解させる。 ・国内のテロやクーデターがなぜ起こったかを理解させる。 ・日中戦争が長期化し、太平洋戦争勃発に至った過程について理解させる。 	

学習指導要領	都立広尾高校 学カスタンダード
<p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>・戦時下の国民生活や敗戦までの過程を理解させる。</p> <p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連づけて理解させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 占領統治下のさまざまな改革を理解させる。 ・ 日本国憲法の内容を理解させる。 ・ 占領政策の転換した原因を考察させる。 ・ サンフランシスコ平和条約について理解させる。 <p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦構造と 55 年体制の成立を関連づけて理解させる。 ・ 高度経済成長によって生活が変化したことを理解させる。 ・ ソ連の崩壊と 55 年体制の終結、バブル経済の崩壊など新しい国際秩序について言及する。

学習指導要領		都立広尾高校 学カスタンダード
(6) 現代の日本と世界	<p>ウ 歴史の論述</p> <p>社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>ウ 歴史の論述</p> <p>修学旅行で訪問する沖縄の歴史や社会、文化について、夏休みに課題学習を課す。</p>